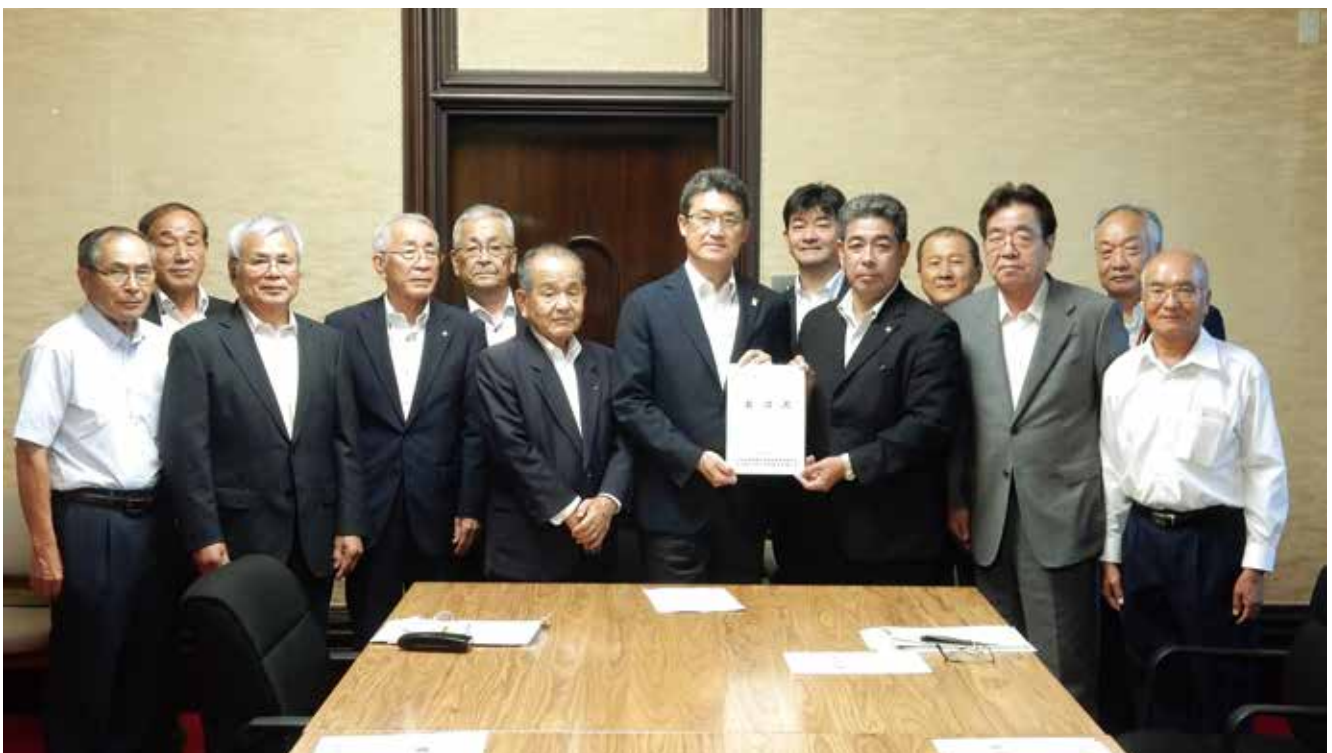




2019 10

目次

- 1. 令和元年度第1回監事会を開催…………… (2)
- 2. 令和元年度第1回理事会を開催…………… (2)
- 3. 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎が宮崎県に要請活動を実施…………… (3)
- 4. 土地改良法改正に伴う土地改良区支援について…………… (5)
- 5. 全国土地改良施設管理事業推進協議会が令和元年度研究会を開催…………… (6)
- 6. 水土里ネット宮崎が職員永年勤続者表彰式を開催…………… (6)



宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎による河野俊嗣知事への要請(3ページに関連記事)

(左から、原田博史理事長[延岡市]、下沖常美理事長[山新]、山口長徳理事長[えびの市]、西川和孝筆頭副委員長・副会長、土屋公俊理事長[新富]、丸目賢一会長、河野知事、日高昭彦副委員長、川南町長、宮原義久委員長、小林市長、山元陸愛理事長[吾田]、川野恒道理事長[宮崎市生目]、三好亨二副委員長・常務理事、甲斐昭男理事長[浜之瀬])

[ ]は水土里ネット名



## 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに 水土里ネット宮崎が宮崎県に要請活動を実施

去る9月3日、宮崎県農業農村整備事業推進委員会（宮原義久委員長）と水土里ネット宮崎（丸目賢一会長）は、宮崎県庁において河野俊嗣宮崎県知事、丸山裕次郎宮崎県議会議長、坊園正恒宮崎県農政水産部長へ要請活動を行った。

### ●宮崎県の農業の実情と課題を踏まえ、事業推進と予算確保を要請

委員会及び水土里ネット宮崎は、宮原委員長を先頭に各所を訪問して要請書と事業効果資料を手渡し、県農業農村整備事業当初予算を確保すること、並びに国への農業農村整備事業予算確保と本県への重点配分について強く働きかけることを要請した。具体的には、本県の水田整備率の低さや国営かんがい排水事業関連地区の早期着工など多くの課題を抱える一方で、農業産出額は全国5位を維持し、日本の食料供給基地として重要な役割を果たしていることから、本県農業の潜在能力を更に発揮し「儲かる農業」を実現するために、農業農村整備事業の計画的な事業推進と、着実な実施により農業競争力の強化を図ることが必要であると訴えた。

また、気候変動による豪雨災害が多発していることや大規模地震の発生が想定される中、老朽化が進行するため池などの農業水利施設等の豪雨対策や地震対策など、農村地域の防災・減災対策を推進し、国土強靱化を図っていくことも重要と訴えた。

加えて、水土里情報システムのさらなる有効活用や多面的機能支払制度による農村協働力の強化、水土里ネットの運営基盤強化の支援も要請した。

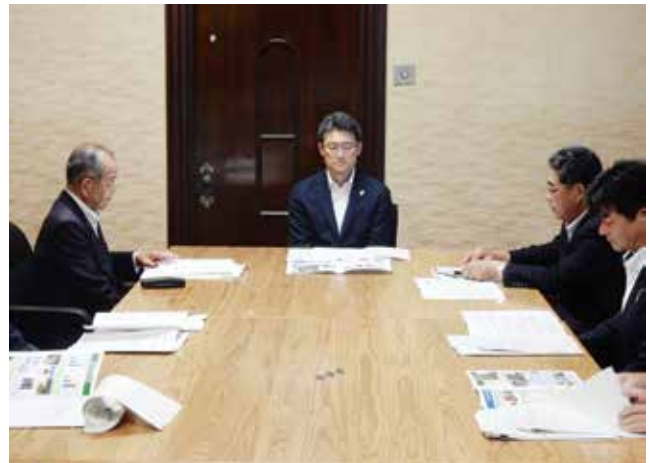
続いて、三好亨二水土里ネット宮崎常務理事が事業効果資料に基づき説明し、引き続き出席した水土里ネット理事長が地域の実情を踏まえて、事業実施により営農での収益が上がった実績の紹介や近年頻発している自然災害への対応、老朽化している施設の維持管理の必要性等について説明し、事業推進並びに予算確保が必要であることを訴えた。

最後に、丸目会長が要請活動についての謝辞を述べた後、国の予算確保と本県への重点配分に向けて、今後の要請活動について力添えを依頼した。

### ●要請への回答

#### 河野知事

農業農村整備事業の必要性については十分認識している。国の農業農村整備事業予算も回復傾向にあり、その流れを止めないためにも、県が実施する予算確保へ向けた取り組みに対して後押しをお願いする。



河野知事への要請

### 丸山議長

儲かる農業を実現するためにも当初予算の確保は重要である。議会でも国や県に対し要望するため後押しをお願いしたい。また、消費者のニーズに応じた作物の生産を行うためには、普及センターやあらゆる部署と連携した営農支援が重要である。



丸山議長への要請

### 坊園部長

農業従事者の減少や担い手不足問題が進行する中で、地域産業の発展にハード整備が重要なことは十分理解しており、第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（令和3年度～）でもしっかり対応したい。農業農村整備事業予算の確保について今後も協力をお願いする。

また、水土里情報システムは、家畜防疫システムとして口蹄疫や鳥インフルエンザなどで活用され、その必要性については十分認識している。今後予想されるシステム更新費用等についても国へ要望するなど検討する。



坊園部長への要請

### ● 要請事項 ●

- 一、農業農村整備事業の計画的な推進のため、令和2年度県当初予算の十分な確保を図ること
- 一、国に対し、農業農村整備事業予算の確保と本県への重点配分について強く働きかけること

## 土地改良法改正に伴う土地改良区支援について

近年の農業及び農村を巡る情勢の変化に対応するとともに、土地改良区の業務運営の適正化を図るため、本年 4 月 1 日より改正土地改良法が施行されており、会員土地改良区におかれましては適時適切な対応が求められています。

本会では、法改正の 1 つである貸借対照表作成に向けた複式簿記導入について会員土地改良区の円滑な取り組みを支援するため、令和 4 年度からの本格実施に向け県内全ての土地改良区を対象に巡回指導を行うこととしております。(本年度は 10 土地改良区を予定)

具体的には、次のとおり

### 【土地改良区巡回指導例】

指導項目	ステップ		
	準備期間 令和元・2年	併用期間 令和3年	本格運用 令和4年
複式簿記の導入時期の合意形成	○		
導入に向けたスケジュールの作成	○		
土地改良施設台帳及び維持管理計画書の整備状況の確認	○		
会計基準に関する指導	○		
資産評価の実施状況の確認	○	○	○
勘定科目の確認と標準勘定科目への変更に関する指導	○		
会計細則の改定案の確認・指導	○	○	
会計細則に基づく処置状況の確認（月計表等の作成状況）			○
仕訳や会計帳簿の記帳の状況の確認・指導		○	○
決算整理に関する指導		○	○
貸借対照表の作成状況の確認・指導		○	○

また、複式簿記への対応として農林水産省より新しいシステムの開発が進められています。システム導入を検討される土地改良区は、本会までご相談ください。

### 〈開発中のシステム〉

★販売価格…約 5 万円（※令和元年 12 月末に完成予定）

★システムの導入方法…インターネット接続に対応する場合 →ダウンロード  
インターネット接続に対応しない場合→ CD-ROM 等

★P C 環境…Windowsアプリケーションソフト方式の場合→Windows8.1もしくはWindows10

その他の土地改良法改正に伴う相談等につきましても、お気軽にお問い合わせください。

**お問合せ：水土里ネット宮崎 会員支援課会員支援係 0985-24-3361（直通）**

### 〈複式簿記に関する研修会のご案内〉

- ・日程：令和元年 11 月 28 日（木）13:30~17:10 29 日（金）9:00 ~ 12:00
- ・場所：宮崎県土地改良会館 4 階研修室
- ・対象：土地改良区 理事、監事、職員

# 全国土地改良施設管理事業推進協議会が令和元年度研究会を開催

去る9月26日から27日、全国土地改良施設管理事業推進協議会（二階俊博会長）は、関係者約160名出席のもと、滋賀県近江八幡市のホテルニューオウミにて研究会を開催した。

はじめに、主催者を代表して丸目賢一全国土地改良施設管理事業推進協議会副会長（水土里ネット大淀川右岸理事長：水土里ネット宮崎会長）が挨拶した後、藤澤直広国営農業水利事業滋賀協議会会長が歓迎挨拶し、引き続き来賓を代表して、前田健次近畿農政局農村振興部長、西川忠雄滋賀県農政水産部長がそれぞれ挨拶した。

## 【講演】9月26日（木）

### 1. 「農業水利施設の保全管理」

農林水産省農村振興局整備部水資源課施設保全管理室  
室長 細井 和夫

### 2. 「農業と漁業が織りなす循環型システムの次世代への継承に向けて」

滋賀県農政水産部耕地課 課長 由谷 倫也

### 3. 特別講演「自然に学び、自然に訊く」

たねやグループ執行委員管理本部 本部長 堀 勝之

## 【現地研修】9月27日（金）

現地研修では日野川流域土地改良区が管理する第1段用水機場を視察し、琵琶湖を補給水源に持つ農地へのかんがい方式について研修した。



丸目賢一副会長の主催者挨拶



現地研修の様子

# 水土里ネット宮崎が職員永年勤続者表彰式を開催

去る9月3日、本会は2階役員会議室にて職員永年勤続者表彰式を行った。受賞者は下記のとおり。

## 勤続30年表彰

事業部技術担当次長	矢野 幸典
事業部計画課長	小浦 良一
総務部会員支援課施設管理係長	齋藤 修
事業部設計課農地整備係長	竹迫 勝彦
事業部換地課換地業務係長	新地 裕樹
事業部換地課調査測量係長	山口 英明

## 勤続20年表彰

事業部計画課計画2係長	今村 誠一
総務部会員支援課会員支援係副主幹	野寄 光
事業部計画課計画2係主査	佐藤 弘明
事業部設計課農地整備係主査	正ヶ峯 諭
事業部換地課調査測量係主査	山下 大輔



(後列)

左から山下主査、今村係長、野寄副主幹、佐藤主査、正ヶ峯主査

(前列)

左から新地係長、齋藤係長、矢野次長、丸目会長、小浦課長、竹迫係長、山口係長